

# 「痛くない死に方」の一場面 柄本佑演じる在宅医 終末医療のあり方に葛藤



「痛くない死に方」の一場面

自身の死生観にも触れながら新作について語った高橋伴明監督(カメラ・橋田 あかり)

## 高橋伴明の死生観

# 生と死は地続きか

患者や家族、そして彼らに向き合う在宅医の葛藤や成長を描く。共演は坂井真紀(50)、余貴美子(64)、大谷直子、宇崎竜童、奥田瑛二(70)ら。112分。

### 大谷直子が妻役

○…宇崎演じる妻は女優の大谷直子(70)が出演。大谷は57歳の時に悪性リンパ腫が判明し、余命宣告を受けた時期もあった。最初は出演に迷いを見せていたという。高橋監督によると「若い頃、(大谷と)飲み友達だったが、仕事は一度もしたことがなかった」という。高橋監督は「一生懸命に働いて」と話すが、大谷は出演の意思を固めていったという。

### デビュー作はピンク映画

○…高橋氏の監督人生の始まりはピンク映画。約60本を手掛けた。その後、大成する監督の中には、ピンク時代を隠したがる人もいるが、高橋氏の考えは違う。「恥ずかしいとは思わない。性を扱ったことは、人間を描く上で」と話した。

### コロナ禍で注目

人生の終末期という重いものを扱いつつ、見る者には風が吹く中にある、すがすがしさのようなものを感じさせる。高橋監督が自ら脚本を手掛けた。「撮っている時は(頭の中で)編集作業も一緒にやっている感じでした」。撮影が順調に進んだことを物語っている。

### 痛くない死に方 20日公開

社会派のベテラン、高橋伴明監督(71)の新作「痛くない死に方」が20日、公開される。人生の最後を病院か自宅か、どこで迎えるのか。終末医療を巡り医師、患者、家族の心の動きを細やかに描き出す。今作は新型コロナウイルスが流行する前の2019年に撮影されたが、「看取り(リ)が難しい」とされる「コロナ禍で、新たな意味を持った映画として注目を集め始めている。高橋監督は当初、「遺作の覚悟で」メガホンを執ったという。(内野 小百合)

### 映画興行トップ10

- ①花束みたいな恋をした
- ②一名探偵コナン 緋色の不在証明
- ③劇場版「鬼滅の刃」無限列車編
- ④ファーストラヴ
- ⑤樹海村
- ⑥一すばらしき世界
- ⑦銀魂 THE FINAL
- ⑧映画 えんとつ町のプペル
- ⑨劇場版ポケットモンスター ココ
- ⑩ヤクザと家族 The Family (2月13、14日・興行通信社調べ)

### 元殺人犯の再出発

6位「一すばらしき世界」は佐木隆三氏の小説「身分帳」を原案に、西川美和監督が映画化。役所広司が主演し、出所した元殺人犯の再出発の日々を描く。

### 吉永小百合も初の医師役に

○…今年、在宅医を扱った作品が偶然にも続く。5月21日には女優・吉永小百合(75)＝写真＝主演で「いのちの停車場」(成島出監督、南杏子原作)が公開。こちらは長年、大学病院で救命救急医として働いていた女性が地元に戻って在宅医として再出発するストーリー。患者との交流を通じて「いのち」に向き合う。吉永は初の医師役となる。

### 遺作のつもりも変化 やりたいこといっぱい

人生初の禁煙が2か月近く続いている。「コロナで電車の中でうっかりせき込むこともできないからね。禁煙に一番驚いているのは家族。でも、たばこをやめてみると性格が悪くなる。いろいろのか、ついに人を追い詰めること言ってる。自らのラストを迷感かけずに逝きたい。そんな思いを劇中の宇崎(竜童・74)さんのシーンに託したつもりなんですけど、ね。そう言いつつ(監督として)やりたい」とは、まだいっぱいあるんだよね。言葉には活力がみなぎっていた。

て。仏教に興味が出てね」「遺作」のつもりが、封切りを前に「生きる」という見つけ直す機会となった。約半世紀に及ぶ映画監督人生。たばこを酒をこよなく愛し、心身を酷使してきた。長年、脚のしびれにも悩まされ、精密検査を受けることになった。「脳梗塞(こうそく)の痕、肺疾患、アルコール性肝炎。悪いところが出るわ出るわ」。しびれは「脊柱管狭窄(きょうさく)症が原因だろう」と勝手に思っていたそうだが「検査では動脈硬化によるものらしく、脚の血管を近く手術します」という。

### 2か月近く禁煙

人生初の禁煙が2か月近く続いている。「コロナで電車の中でうっかりせき込むこともできないからね。禁煙に一番驚いているのは家族。でも、たばこをやめてみると性格が悪くなる。いろいろのか、ついに人を追い詰めること言ってる。自らのラストを迷感かけずに逝きたい。そんな思いを劇中の宇崎(竜童・74)さんのシーンに託したつもりなんですけど、ね。そう言いつつ(監督として)やりたい」とは、まだいっぱいあるんだよね。言葉には活力がみなぎっていた。